県外派遣報告書

審判員名	福田　忠司	所属	U12部会
大　会　名	第37回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会ミニバスケットボール競技		
期　　間	平成30年7月27日（金）～7月29日（日）		
会　　場	富士北麓公園体育館（山梨県）		

スケジュール

期　　日	内　　容	場　　所
7月27日（金）	審判会議	押原公園　大会議室
7月28日（土）	大会1日目（予選リーグ）	富士北麓公園体育館
7月29日（日）	大会1日目（決勝リーグ）	富士北麓公園体育館

会議　講義　内容

【講師】山梨県バスケットボール協会　審判長　河野　仁　氏
【テーマ】「プレーコーリング・ガイドライン」について
ガイドラインの各項目について、ジェスチャーや事例などを交え、具体的にご説明いただきました。
・悪い手・腕・肘については、3原則の「事実」と「責任」をしっかりと確認すること。そのためにスペースウォッチが重要。また、オフェンスの悪い手・腕・肘を使ったアクションについてもしっかりと判定できるようにすること。
・ゾーン禁止に伴いスクリーンプレーが増加。イリーガルスクリーンについてしっかりとした根拠（基準）を設けること。
・ブロック・チャージでは、ドライブ時のビッグインパクトを放っておかないこと。
・プロテクトシューターについては、シューターを怪我などから守る為にも着地までしっかりと確認すること。
・「明らかな」トラベリングを見逃さないこと。また、ステップインと明らかなジャンプステップ等の区別をしっかりと判定すること。
ガイドライン以外にも、プレゼンテーションの重要性や、リバウンド時におけるリードの右へのスイッチサイド等メカニックについてもご説明いただきました。

実技①

担当試合	期　日	7月28日（土）	男子　(女子)	
	対戦カード	ジュニアファイブ（千葉県）　VS	東京柏葉（東京都）	(主審)　副審
	相手審判	渡辺　伸一　氏（山梨県）		

ミーティング内容　　主任　　中島　孝博　氏（群馬県）

ゲーム序盤に、手や体の触れ合いに対して、積極的に笛を入れた事により、その後のゲームが比較的クリーンに進行したという講評をいただきました。自分でも序盤でのテンポセッティングを意識していたので、その点ではよかったと思います。今後に向けては、その中でも不要な笛がなかったか…等は反省材料として活かしていきたいと思います。一方で、エリア①⑥側からのウィングとポストとの2対2の攻撃で、リードの際に右へスイッチサイドした方がよい場面がもっとあったとのアドバイスをいただきました。選手のフロアバランスだけでなく、チームの戦術を踏まえ、二人でもっとあつく見るべきプレーを感じ取れるようにしたいと思います。また、トレイル時の位置取りが高い時がある点と、もう少しペネトレイトをするようにアドバイスいただきました。今後に活かしていきたいと思います。

実技②				
担当試合	期　日	7月29日（日）	男子　(女子)	
	対戦カード	船津SW（山梨県）　VS	山中湖東（山梨県）	(主審)　副審
	相手審判	新島　薫　氏（栃木県）		

ミーティング内容　　主任　飯島　祐紀　氏（茨城県）

同県・同地区のチーム同士の対戦となり、互いに負けたくないという雰囲気が、選手・ベンチ・応援席からも伝わってくる、緊迫感のあるゲームであったと思います。至る所で判定の難しい事象が起こり、確認すべき点が多いゲーム展開となりました。その中でも、判定した際も含め、プレーとの距離感（遠い）についてアドバイスいただきました。また、自身の目の前であったが、アングルが変わったことによってブラインドコールになった点をご指摘いただきました。リードで右にいった際、Ofeのターンによってブラインドとなってしまった際は、トレールに任せるべきと、具体的なケースを基にご説明いただきました。今後の修正点として取り組んでいきたいと思います。

全体の感想

大会を通じて、ゲームコントロール（スムーズな運営）、パートナーとのコミュニケーションの重要性、プレゼンテーションの重要性等、色々なことを学ばせていただきました。自身の今後の活動に活かしていくと共に、学んだことを、県や地区の審判員に伝えていきたいと思います。
大会中には膝痛を発症してしまい、割当変更やリザーブ等を準備いただいての割当など、山梨県U12審判委員会や関係者の皆様に、ご心配とご迷惑をおかけしてしまいました。申し訳ございませんでした。
今回の派遣に関し、推薦いただいた埼玉県U12審判委員会、ご指導いただきました山梨県協会講師の方々、また審判に集中出来る環境を整えてくださった山梨県U12部会の皆様に感謝申し上げます。有難うございました。